

freetel

Where the future begins.

priori2
priori2
priori2
priori2
priori2
priori2
priori2
priori2

FT142A-Pr2

取扱説明書

(安全のしおり)

one by one fo
to the count

目次

| | |
|--|----|
| 1. 免責事項について | 1 |
| 2. 安全上のご注意(必ずお守りください) | 2 |
| ・表示の説明 | 2 |
| ・図記号の説明 | 3 |
| ・FT142A-Pr2 本体/ACアダプタ/USBケーブル/ リチウムイオン電池/その他同梱物共通 | 3 |
| ・FT142A-Pr2 本体 について | 5 |
| ・リチウムイオン電池について | 9 |
| ・充電用機器について | 10 |
| 3. 取り扱い上のお願ひ | |
| ・登録内容などについて | 12 |
| ・FT142A-Pr2 本体/リチウムイオン電池 /充電用機器/周辺機器共通 | 12 |
| 4. 取扱説明書 | |
| 1.本体付属品(同梱物)について | 14 |
| 2.部位説明 | 14 |
| 3.SIMカードをセットする方法 | 15 |
| 4.APN(アクセスポイント名)の設定について | 16 |
| 5.電源のOn/Off | 17 |
| 6.バッテリーの充電 | 17 |
| 7.タッチスクリーンの使用方法 | 18 |
| 8.ホーム画面 | 18 |
| 9.スクリーンのロック/ロック解除について | 18 |
| 10.発信する | 19 |
| 11.文章を入力する | 19 |
| 12.メッセージを送信する | 19 |
| 13.ネットワークへの接続 | 20 |
| 14.microSDカードをUSBメモリとして使う | 21 |
| 15.カスタマイズ | 22 |
| 16.写真を撮る・動画を録画する | 22 |
| 17.データの初期化 | 23 |
| 18.お知らせ | 23 |

1.免責事項について

●地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

●本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。

●本書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

●当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

●本製品の故障・修理・その他取扱いによって、撮影した画像データやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復により生じた損害・逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。

●大切なデータはコンピューターのハードディスクなどに保存しておくことをお勧めします。万一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますので予めご了承ください。

※本製品で表す「当社」とは、プラスワン・マーケティング株式会社を指します。

2.安全上のご注意 (必ずお守りください)

●ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

●この「安全上のご注意」には本製品を使用するお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために守っていただきたい事項を記載しています。

●各事項は以下の区分に分けて記載しています。

表示の説明

| | |
|--|---|
|  危険 | この表示は「人が死亡または重傷(※1)を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。 |
|  警告 | この表示は「人が死亡または重傷(※1)を負う可能性が想定される内容」を示しています。 |
|  注意 | この表示は「人が傷害(※2)を負う可能性が想定される内容や物的損害(※3)の発生が想定される内容」を示しています。 |

※1 重 傷：失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症がのこるもの、または治療に入院や長期の通院を要するものを指します。

※2 傷 害：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。

※3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。

図記号の説明

| | |
|---|------------------------------------|
|  | 行ってはいけない(禁止)内容を示しています。 |
|  | 水に濡らしてはいけない(禁止)内容を示しています。 |
|  | 分解してはいけない(禁止)内容を示しています。 |
|  | かならず実行していただく(強制)内容を示しています。 |
|  | 濡れた手で扱ってはいけない(禁止)内容を示しています。 |
|  | 電源プラグをコンセントから抜いていただく(強制)内容を示しています。 |

FT142A-Pr2本体/ACアダプタ/USBケーブル/
リチウムイオン電池/その他同梱物共通

危険

必ず下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

| | |
|---|---|
|  | 本製品に使用するリチウムイオン電池、ACアダプタ、USBケーブルは必ず指定の周辺機器をご使用ください。発熱・発火・破裂・故障・漏液の原因となります。 |
|  | 高温になる場所(火のそば、ストーブのそば、炎天下など)での使用や放置、保管をしないでください。破裂・発火・火災・発熱の原因となります。 |
|  | ガソリンスタンドなど、引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前に本製品の電源をお切りください。また充電もしないでください。ガスに引火する恐れがあります。 |

| | |
|---|---|
|  | 火の中に投入したり、加熱したりしないでください。破裂・発火・火災・発熱の原因となります。 |
|  | 加熱用機器（電子レンジなど）や高圧容器に入れないでください。破裂・発火・火災・発熱の原因となります。 |
|  | 分解・改造・修理はしないでください。破裂・発火・火災・発熱・感電・けがの原因となります。携帯電話の改造は電波法違反になります。故障などによる修理はfreetelカスタマーサポートまでご連絡ください。万一改造などによりFT142A-Pr2本体や周辺機器などに不具合が生じても当社では一切の責任を負いかねます。 |
|  | 接続端子をショートさせないでください。また、導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接続端子に接触させたり内部に入れたりしないでください。破裂・発火・火災・発熱・感電の原因となります。 |
|  | 高所から落下させる、投げつける、踏みつけるなど強い衝撃を与えないでください。破裂・発火・火災・発熱・漏液の原因となります。 |
|  | 使用中に煙が出る、異臭や異音がする。過剰に発熱しているなど異常が起きたら直ちに使用を中止してください。異常が起きた場合は、充電中であればまずACアダプタをコンセントから抜き、熱くないことを確認してから電源を切り、リチウムイオン電池をはずしてfreetelカスタマーサポートまでご連絡ください。そのまま使用すると破裂・発火・火災・発熱の原因となります。 |

警告

必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

| | |
|---|--|
|  | 通電状態では接続端子に手や指など身体の一部をふれないでください。感電・けがの原因となります。 |
|  | FT142A-Pr2本体が濡れている状態で充電しないでください。感電や電子回路のショートなどによる故障・火災の原因となります。水漏れ時の充電による故障は保証の対象外となり修理ができません。 |
|  | 水などの液体が本体内部に入った場合には、使用をおやめください。そのまま使用すると、発熱・発火・故障の原因となります。 |
|  | 落下したり、破損したりした場合はそのまま使用せず、freetelカスタマーサポートまでご連絡ください。 |
|  | 乳幼児の手の届く場所には置かないでください。部品やリチウムイオン電池などの誤飲で窒息するなど、けがなどの原因となります。 |

| | |
|---|---|
|  | 直射日光のあたる場所（自動車内など）、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。発火・火災の原因となります。 |
|---|---|

注意

必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

| | |
|---|---|
|  | 電子的電圧変換器にACアダプターを繋いで使用しないで下さい。携帯端末に充電電池を挿入したまま充電すると、電池の発熱発煙・発火・爆発の恐れがあります。 |
|  | ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。落下してけがの原因となります。また、本製品がパイプレータ設定になっている場合、振動により落下する可能性があるため、とくにご注意ください。 |
|  | 外部から電源が供給されている状態の本製品・リチウムイオン電池・ACアダプタ・USBケーブルに長時間触れないでください。低温やけどの原因となります。 |
|  | 腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障による内部データの消失の原因となります。 |
|  | SIMカード挿入部分、金属部分に不用意に触れたり、ショートさせたり、曲げたりしないでください。故障の原因となります。 |
|  | SIMカード挿入部分、金属部分を濡らさないでください。故障の原因となります。 |
|  | 湿気の多い場所で使用しないでください。身につけている場合は汗による湿気が故障の原因となる場合があります。水漏れや湿気による故障と判明した場合は保証の対象外となり、修理ができません。 |

FT142A-Pr2本体について

危険

必ず下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

| | |
|---|---|
|  | 自動車・原動機付自転車・自転車などの運転中や歩行中に携帯電話を使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は危険なため法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。 |
|  | 自動車などの運転者に向けて撮影ライト/簡易ライトを点灯しないでください。目がくらんだり、驚いたりして、交通事故の原因となります。 |
|  | 自動車内で使用する場合、まれに車載電子機器に影響を与えます。安全走行を損なう恐れがありますので、その場合は使用しないでください。 |
|  | 本製品のディスプレイ部には強化ガラスを使用していますが、万一、破損してしまった場合は破損部に触れないでください。破損部でけがをすることがあります。freetelカスタマーサポートまでご連絡ください。 |
|  | 航空機内でFT142A-Pi2を使用しないでください。航空機内での電波を発する電子機器の使用は法律で禁止されています。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合わせください。 |
|  | <p>植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他医用電気機器の近くで携帯電話使用される場合は、電波によりそれらの装置、機器に影響を与える恐れがあるため、次のことを守ってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている方は、携帯電話を植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器から22cm以上離して携行および使用してください。 2、満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカー、植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、携帯電話の電源を切るようにしてください。 3、医療機関の屋内では以下のことに注意してご使用ください。 <ul style="list-style-type: none"> ・手術室・集中治療室（ICU）・冠状動脈疾患監視病室（CCU）には携帯電話を持ち込まない。 ・病棟内では、携帯電話の電源を切る。電源が自動的に入る設定をしている場合は、あらかじめ設定を解除してから電源を切る。本製品とパソコンをUSBケーブルで接続すると、本製品の電源が自動的に入ることがあるので病棟内では接続しない。 ・ロビーなどであっても、付近に医用電気機器がある場合は、携帯電話の電源を切る。 ・医療機関が個々に使用禁止・持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従う。 4、医療機関の外で植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合（自宅療養など）は、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。ここで記載している内容は、「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末などの使用に関する指針」（平成9年3月不要電波問題対策協議会〔現電波環境協議会〕）に準拠し、また「電波の医用機器等への影響に関する調査研究報告書」（平成17年3月「一般社団法人電波産業会」）の内容を参考にしたものです。CDMA方式については平成16年度に調査が行われ、平成17年に上記指針、報告書の内容が妥当であることが総務省より公表されています。 |
|  | 高精度な電子機器の近くでは電源をお切りください。電子機器に影響を与える場合があります。（影響を与えるおそれがある機器の例：心臓ペースメーカー・補聴器・その他医用電子機器・火災報知器・自動ドアなど。医用電子機器をお使いの場合は、機器メーカーまたは販売者に電波による影響についてご確認ください。） |

| | |
|---|---|
|  | ごくまれに強い光の刺激を受けたり点滅を繰り返す画面を見ていると、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす人がいます。こうした経験のある人は、事前に必ず医師と相談してください。 |
|  | 通話・メール・撮影・ゲーム・インターネットなどをするときや、音楽を聴くときは周囲の安全を確認してください。安全を確認せずに使用すると、転倒・交通事故の原因となります。 |
|  | イヤフォン（別売）を使用するときは音量にご注意ください。周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。 |
|  | 屋外で雷鳴が聞こえた場合は、直ちに本製品の使用を中止してください。落雷・感電の原因となります。本製品の電源を切って、安全な場所へ移動してください。 |



警告

必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

| | |
|---|---|
|  | FT142A-Pr2本体は防水/防塵仕様ではありません。ご注意ください。 |
|  | 撮影ライト/簡易ライトを人の目の前で発光させたり、フラッシュ点灯時に発光部を直視したりしないでください。視力障がいを起こす原因となります。とくに乳幼児に対して至近距離で撮影しないでください。 |
|  | 本製品が破損し、または電話機内部が露出した場合、破損部および露出部に手を触れないでください。感電したり、けがをすることがあります。そのまま使用せず当社freetelサポートセンターまでご連絡ください。 |
|  | 心臓の弱い方はバイブレータ（振動）や音量の大きさの設定にご注意ください。心臓に影響を与える可能性があります。 |
|  | 暗い部屋で、画面の強い光や光の点滅を見つめないでください。強い光の刺激を受けたり点滅を繰り返す画面を見ていると、ごくまれに、筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす人がいます。こうした経験のある方は、事前に必ず医師と相談してください。 |
|  | カメラのレンズに直射日光などを長時間当てないでください。レンズの集光作用により、発火・火災の原因となります。 |
|  | 通常は外部接続端子カバー、電池フタなどをはめた状態で使用してください。カバー類をはめずに使用していると、ほこり・水が入り感電や電子回路のショートによる故障の原因となります。 |

注意

必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

| | |
|---|---|
|  | <p>改造されたFT142A-Pr2は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法に抵触します。当社電話は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として、「技適マーク」が電話本体の銘板シールに表示されております。</p> <p>当社電話本体のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明が無効になります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。</p> |
|  | <p>本製品をむやみに振らないでください。周囲の人や物にあたり、故障やけがの原因になります。</p> |
|  | <p>直接またはイヤフォン(別売)を使用したりして耳を刺激するような大音量で長時間続けて聞かないでください。聴力に悪い影響を与えることがあります。</p> |
|  | <p>キャッシュカードやフロッピーディスクやクレジットカードなどの磁気を帯びた記憶媒体や電子機器、金属製品を近づけないでください。磁気データの消失の原因となります。</p> |
|  | <p>FT142A-Pr2本体は、動作時の温度：5℃～35℃（ただし36℃～40℃であれば一時的に使用可能です）/湿度：35%～90%（結露なきこと）でご利用ください。範囲を超える極端に暑い場所や寒い場所での使用による故障と判明した場合は保証はつけることはできません。</p> |
|  | <p>ディスプレイ部の保護シートははがしてからご使用ください。貼ったまま使用するとけがの原因になります。はがすときも指などをきらないようご注意ください。</p> |
|  | <p>microSDメモ리카ード(別売)を挿入状態から、無理に引き抜かないでください。故障・内部データの消失の原因となります。</p> |
|  | <p>爪先でタッチパネル操作を行わないでください。爪が割れるなど、けがの原因となります。</p> |
|  | <p>皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などを生じる場合があります。</p> |
|  | <p>本製品の各機能を使用中は、長時間直接肌に触れさせたり、紙・布・布団などをかぶせたりしないでください。FT142A-Pr2本体一部が温かくなり、火災・やけど・故障の原因となります。</p> |
|  | <p>ボールペンや鉛筆など先のとがったものでタッチパネル操作を行わないでください。ディスプレイの破損の原因となります。</p> |

リチウムイオン電池について



Li-ion 00

＜本製品の電池パックはリチウムイオン電池です＞
電池パックはお買い上げ時には、十分充電されていません。
改めて充電してからお使いください。



危険

誤った取り扱いをすると、発熱・漏液・破裂のおそれがあり危険です。
必ず下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

| | |
|--|--|
| | 電池パックの (+) と (-) をショートさせないでください。破裂・発火・発熱の原因となります。 |
| | 持ち運ぶ際や保管するときは、金属片（ネックレスやヘアピンなど）などと接続端子が触れないようにしてください。電池パックがショートし、過大な電流が流れ、破裂・発火・発熱の原因となります。 |
| | リチウムイオン電池を本製品充電用機器等に接続するときは、 (+) (-) を逆にしないでください。破裂・発火・発熱の原因となります。また、うまく接続できないときは無理せず接続部を十分にご確認ください。 |
| | 釘をさしたり、ハンマーで叩いたり、踏み付けたりしないでください。破裂・発火・発熱・漏液の原因となります。 |
| | 直接ハンダ付けをしたり、分解・改造をしたりしないでください。電池内部の液が飛び出し目に入ったりして失明などの事故や、破裂・発火・発熱の原因となります。 |
| | 漏液したり、異臭がするときには直ちに使用を中止し、漏液した液体に直接触れないでください。また万が一近くに火気がある場合は、火気から遠ざけてください。漏液した液体に引火し、破裂・発火の原因となります。 |
| | 電池パックを水や海水などで濡らさないでください。電池パックが濡れると発火・発熱・破損の原因となります。 |
| | 濡れた手での使用は絶対にしないでください。 |

警告

誤った取り扱いをすると、発熱・漏液・破裂のおそれがあり危険です。
必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

| | |
|---|---|
|  | 電池パックは防水性能を有しておりません。電池パックを水や海水、ペットの尿などで濡らさないでください。また濡れた電池パックは充電しないでください。電池パックが濡れると発熱・破損・発火の原因となります。 |
|  | 内部の液が目に入った場合は、こすらずにきれいな水で十分洗った後直ちに医師の治療を受けてください。放置すると失明になる恐れがあります。機器に付着した場合は、液に直接触れないでふき取ってください。 |

注意

誤った取り扱いをすると、発熱・漏液・破裂のおそれがあり危険です。
必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

| | |
|---|---|
|  | 内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちにきれいな水で十分に洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因になります。 |
|  | 不要な電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てないでください。 |
|  | 電池パックに巻きつけてあるシールをはがさないでください故障の原因になります。 |

充電用機器について

危険

誤った取り扱いをすると、発熱・漏液・破裂のおそれがあり危険です。
必ず下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

| | |
|---|--|
|  | 所定の時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を止めてください。電池パックの漏液・破裂・発熱・発火・火災・発熱の原因となります。万が一問題がある場合は、当社カスタマーサポートまでご連絡ください。 |
|---|--|

| | |
|---|---|
|  | 雷が鳴りだしたらACアダプタに触れないでください。落雷による感電などの原因となります。 |
|---|---|

注意

誤った取り扱いをすると、発熱・漏液・破裂のおそれがあり危険です。必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

| | |
|--|---|
|  | 雷が鳴りだしたらACアダプタに触れないでください。落雷による感電などの原因となります。 |
|  | ACアダプタやUSBケーブルは、首にかけたり巻きつけたりしないでください。窒息などの危険があります。 |
|  A C | 充電時以外は、ACアダプタをコンセントから抜いてください。発火・火災・感電の原因となります。 |
|  | 充電用機器の指定のUSBケーブルはコンセントに確実に差し込んでください。差込が不完全な場合、発火・火災・発熱・感電の原因となります。 |
|  | FT142A-Pr2本体は、動作時の温度：5℃～35℃（ただし36℃～40℃であれば一時的に使用可能です）/湿度：35%～90%（結露なきこと）をご利用ください。範囲を超える極端に暑い場所や寒い場所での使用による故障と判明した場合は保証はつきません。 |
|  | 濡れた手での使用は絶対にしないでください。 |
|  | 風呂場などの湿気の多い場所では、絶対に使用しないでください。感電や故障の原因となります。 |
|  | 濡れた電池パックを充電しないでください。 |
|  | 充電中は布や布団をかぶせたり、包んだりしないでください。発火・火災の原因となります。 |
|  | コンセントや配線器具の定格をこえる使い方はしないでください。たこ足配線などで定格を超えると、発火・火災・発熱の原因となります。 |

| | |
|---|---|
|  | 指定の充電用機器のUSBケーブルを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたまま使用したりしないでください。また痛んだ電源コードは使用しないでください。発火・火災・感電・ショートの原因となります。 |
|  | お手入れをするときには、指定の充電用機器のACアダプタをコンセントから抜いてください。抜かないでお手入れをすると感電やショートの原因となります。 |
|  | 指定の充電用機器のACアダプタについたほこりはふき取ってください。そのまま放置すると発火・火災の原因となります。 |
|  | 指定の充電用機器のACアダプタをコンセントから抜くときは、必ずACアダプタを持って抜いてください。USBケーブルを引っ張るとUSBケーブルが損傷し、発火・火災・感電の原因となります。 |

3. 取り扱い上のお願い



注意

誤った取り扱いをすると、発熱・発火・感電などのおそれがあります。必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。よくお読みになって、正しくご使用ください。

■登録内容などについて

・本製品に登録された電話帳／メール／ブックマーク／お客様が作成、保存されたデータなどの内容は、事故や故障／修理、その他取扱いによっては変化、消失する場合があります。大切な内容は控えをお取りください。万一変化、消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■FT142A-Pr2本体／リチウムイオン電池／充電用機器／周辺機器

・無理な力がかかると、ディスプレイや内部の基板などが破損し故障の原因となりますので、ズボンやスカートのポケットに入れたまま座ったり、かばんの中で重いものの下になったりしないよう、ご注意ください。また、外部接続器を外部接続端子やイヤホン接続端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。

・極端な高温／低温／多湿はお避け下さい（温度5℃～35℃（ただし36℃～40℃であれば一時的使用は可能です）湿度：35%～90%以下（結露なきこと））でご利用ください。

－FT142A-Pr2本体

・極端な高温／低温／多湿はお避け下さい（温度5℃～35℃、湿度：35%～85%以下（結露なきこと））でご利用ください。

－充電用機器

－リチウムイオン電池

－周辺機器

・ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。

・外部接続端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となります。また、このとき強い力を加えて端子部を変形、傷づけないようにご注意ください。

・汚れた場合は柔らかい布で乾拭きしてください。ベンジン／シンナー／アルコール／洗剤などを用いると外装や文字が変質するおそれがありますので、使用しないでください。

・一般電話／テレビ／ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。

・通話中、通信中、カメラ機能などの利用中や充電中など、ご使用状況によってはFT142A-Pr2本体が温かくなることがありますが、異常ではありません。

・使用中、本製品が高温となった場合、保護のため一部機能を停止することがあります。また使用中は電池残量低下や温度上昇に応じてディスプレイの輝度が落ちる場合があります。

・電池パックは、電源を切ってから取り外してください。電源を切らずに電池パックを取りはずすと、保存されたデータが変化・消失するおそれがあります。

・お子様がご使用になる場合は、取扱説明書（本書）をよくお読みになり、危険な状態にならないように保護者の方が正しい使い方をご指導ください。また使用中においても、指示通りにご利用いただきますようお願いいたします。

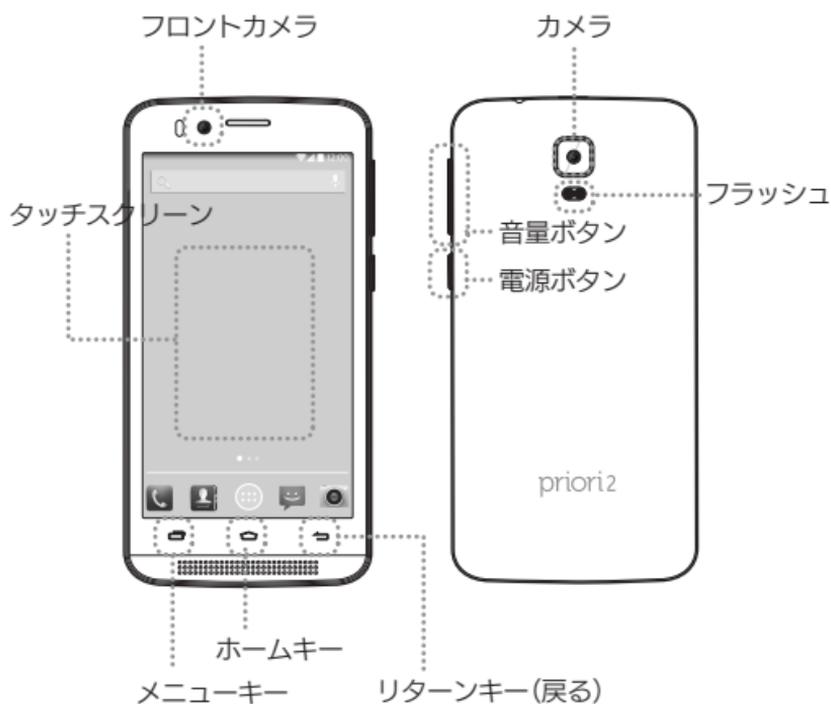
4. 取扱説明書

1. 本体付属品

- FT142A-Pr2本体
- スタートアップガイド
- ACアダプタ
- リチウムイオン電池
- 説明書
- USBケーブル

2. 部位説明

- **メニューキー**
壁紙、アプリの管理、システム設定、ランチャ設定が選択できます。
- **ホームキー**
長押しすると最近使用したアプリケーションが開きます。



3.SIMカードをセットする方法

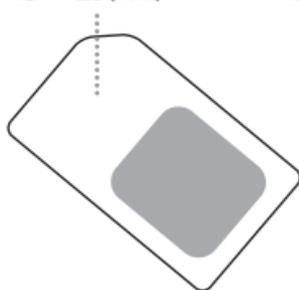
STEP 01 SIMカードを用意してください。

1つ注意

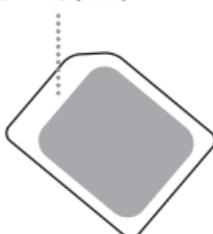
日本国内で使用する場合、KDDI社およびイー・モバイル社のSIMカードはお使いいただけません。

標準サイズもしくはmicroSIMカードを使用してください。

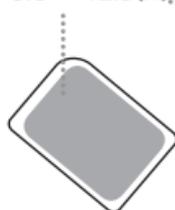
• 通常 SIM カード
15 × 25(mm)



• microSIM カード
12 × 15(mm)



• nanoSIM カード
8.8 × 12.3(mm)



STEP 02 SIMカードをセットするスロットは左右にございます。標準SIMカードは左側、microSIMカードは右側のスロットにセットしてください。カードを差し込む時は、SIMカードの向きにご注意ください。

※IC面は下になります

STEP 03 リチウムイオン電池をセットしてください。

STEP 04 ふたを閉めてください。完全にふたが閉じていることをご確認ください。



4 .APN (アクセスポイント名) の設定について

データ通信を行う際には、お使いいただくSIMカードに対応したAPN設定を行う必要がございます。設定の方法は、[設定]-[その他]-[モバイルネットワーク]-[アクセスポイント名]を選択いただき、SIMカードの通信事業者が定めるAPNを選択いただくか、該当するAPNがない場合は、ご自身で入力を行っていただきます。APN設定方法についてはfreetel公式サイト (<http://www.freetel.jp>) に詳細を記載しておりますので、ご参考ください。

1) 注意

SIMカードを挿入してパケット通信を使用する為の設定方法は、SIMカードを提供している通信事業者にお問い合わせしてください。

SIMカードを挿入してパケット通信を使用する場合、通信事業者の定める利用料金が発生します。詳細に関しては、SIMカードを提供している通信事業者にお問い合わせください。

5.電源のOn/Off

電源をOnにする

端末側面にある電源ボタンを長押しして本体の電源をOnにします。初めて立ち上げる際は、アカウントのセットアップ画面が表示されるので指示に従ってセットアップ作業を進めてください。

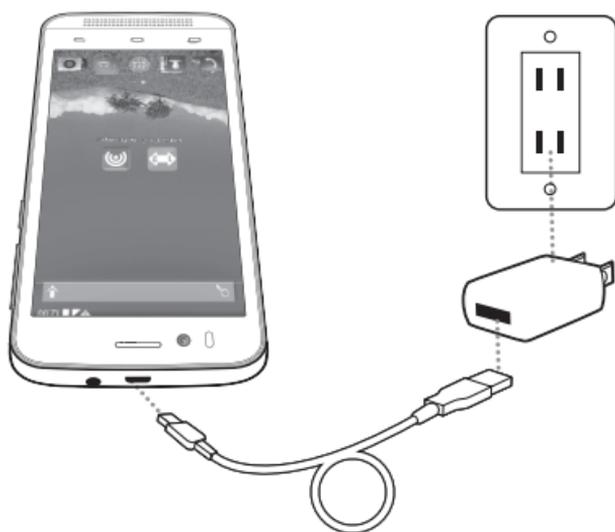
注意

アカウントセットアップ時はインターネットに接続されている必要があります。

電源をOffにする

電源ボタンを長押ししてオプションメニューを開き、「電源を切る」をお選びください。

6.バッテリーの充電

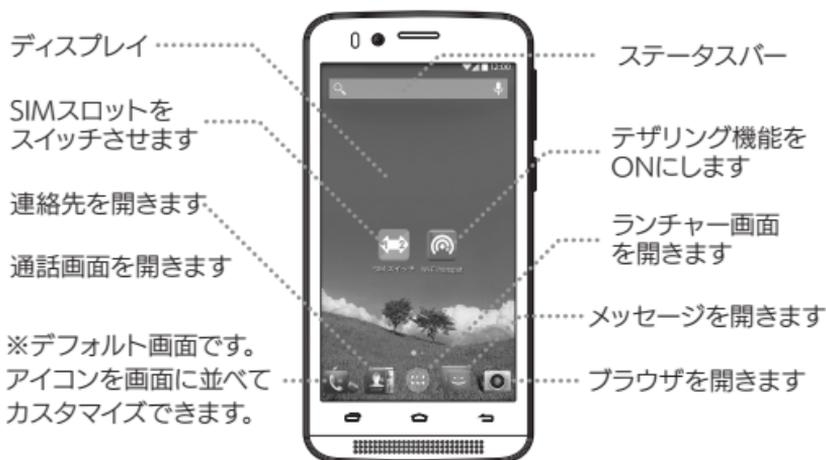


microUSB接続端子に確実に接続されているかを確認ください。

7.タッチスクリーンの使用方法

- タッチ**：アプリケーションの開始時やアイコンの選択時に、ご希望のアイコンに触れます。
- タッチ&ホールド** お選びのアプリケーションが起動するまでアイコンを長押しします。
- フリック**：指で画面を水平または垂直に動かします。(次のページへ進むとき、またスクロールアップ・ダウンするとき等にお使いいただけます)
- ドラッグ**：お選びのアイコンを長押しし、アイコンに触れたまま動かします。

8.ホーム画面



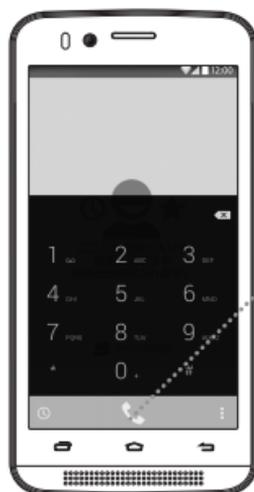
9.スクリーンのロック/ロック解除について

スクリーンをロックする

- 本体の電源がOnの状態ですべて電源ボタンを押してスクリーンをロックします。スクリーンロック中でも、電話やメールの受信は可能です。
- 一定の時間放置しておくと、自動的にロックがかかります。

10.発信する

- STEP 01** 発信・通話をする場合には「電話」アプリケーションを利用します。ホーム画面の下部にある電話の受話器のマークを押すと画面が開きます。



受話器ボタン

- STEP 02** 番号をダイヤルします。

- STEP 03** 発信を開始する際、受話器ボタンを押します。

11.文章を入力する

スクリーン上のキーボードを利用する

- 文章の入力を開始する位置をタッチして、キーボードを表示させます。
- 戻るボタンをタッチすると、キーボードを隠します。

12.メッセージを送信する

- STEP 01** ホームのメッセージボタンを押し、画面右上にある新規作成ボタンをタッチします。

STEP 02 ▶ 宛先に電話番号を入力します。

STEP 03 ▶ 「メッセージを入力」にタッチして、本文を入力します。

※メッセージ入力画面でメニューボタンを押すと、「件名を追加」、「絵文字の挿入」などを行うことができます。

STEP 04 ▶ メッセージ入力が終わったら「送信」をタッチしてメッセージを送信します。

13. ネットワークへの接続

• ワイヤレスネットワークに接続する

STEP 01 ▶ ホーム画面でメニューキーを押して「設定」をタッチします。

STEP 02 ▶ 「無線とネットワーク」-「その他」-「モバイルネットワーク」を選択し、「データ通信を有効にする」を選択し、データ通信を有効にします。

※ワイヤレスネットワークが必要でない場合、「データ通信を有効にする」のチェックを外してください。

※SIMカードを挿入してパケット通信を使用する為の設定方法は、SIMカードを提供している通信事業者にお問い合わせください。

※SIMカードを挿入してパケット通信を使用する場合、通信事業者の定める利用料金が発生します。詳細に関しては、SIMカードを提供している通信事業者にお問い合わせください。

※APN設定方法についてはfreetel公式サイト (<http://www.freetel.jp>) に詳細を記載しておりますので、ご参考ください。

•Wi-Fiのネットワークに接続する

- STEP 01** ホーム画面でメニューキーを押し、「設定」をタッチします。
- STEP 02** 「無線とネットワーク」-「Wi-Fi」の設定をONに切り替えてください。
- STEP 03** 「Wi-Fi」を押すと、検出されたWi-Fiスポットの一覧が表示されます。
- STEP 04** 一覧の中から接続したいネットワークを選択して、そのネットワークに接続します。
※Wi-Fiネットワークに無事接続されるとステータスバーにWi-Fiの接続マークが表示されます。

•ウェブサイトを開く

ホーム画面のブラウザボタンにタッチして、ブラウザを開きます。

※Wi-Fiネットワークとモバイルネットワークの両方が有効な場合、自動的にWi-Fi接続が選択されます。

1 4.microSDカードをUSBメモリとして使う

FT142A-Pr2本体に挿入されたmicroSDカード(別売)をUSBメモリとして使い、PCに保存されたお気に入りの写真や音楽をFT142A-Pr2本体に転送することができます。

- STEP 01** USBケーブルでFT142A-Pr2本体とPCを接続し、正しくmicroSDカードがセットされていれば、PC上のリムーバブルディスクの中にmicroSDカード(別売)が検出されます。
- STEP 02** 通知パネルの中から「USB接続」を選択します。
- STEP 03** 確認画面より「USBストレージをONにする」を選択するとPCからFT142A-Pr2に挿入されているmicroSDカード(別売)へのデータ転送ができます。

15. カスタマイズ

• 壁紙の変更

ホーム画面でメニューキーを押して「壁紙」を選択します。オプションメニューでご希望の写真を選択し、設定します。

• 電話着信音の変更

ホーム画面でメニューボタンを押して「システム設定」-「オーディオプロファイル」-「全般」-「編集」-「着信音/電話音」から選択してください。

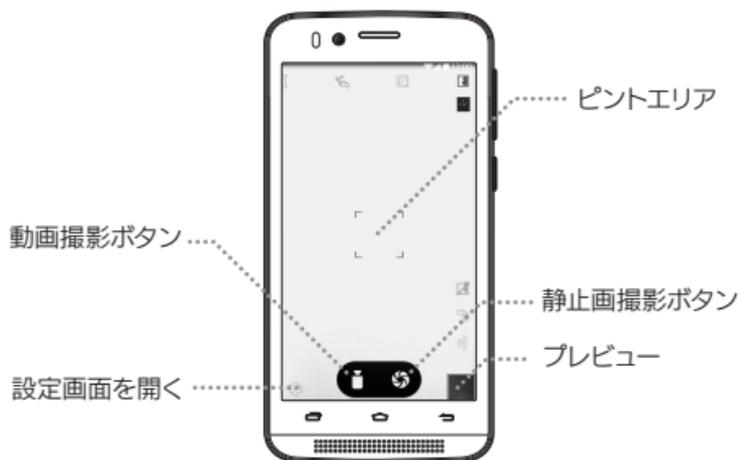
16. 写真を撮る・動画を録画する

• 写真を撮る

- ① 写真撮影画面上で撮影したいものにピントを合わせます。
- ② カメラ撮影ボタンを押して撮影します。
- ③ 設定オプション上で撮影設定を変更することができます。

• 動画を撮影する

- ① 写真撮影モードから動画撮影モードに切り替えます。
- ② 被写体にピントを合わせます。
- ③ カメラ撮影ボタンを押して動画撮影を開始・停止します。



17.データの初期化

データを初期化するとGoogleや他のアカウントを含め、記録されたすべての個人データアプリケーション設定そしてダウンロードされたすべてのアプリケーションが消去されます。

①設定画面の「バックアップとリセット」から「データの初期化」を選びます。

②次の画面に進んだら「携帯端末をリセット」を選び、その後本体が初期化作業を開始し、再起動されます。

18.お知らせ

・本商品についてプラスワン・マーケティング株式会社が法律で定められている全ての権利を保持しています。

・本資料は参考目的に発行しているものであり、商品保証とは一切関わりがないことをご了承ください。

・本商品上においてのGoogle、Googleロゴ、Android、Google提供のアプリケーションは全てGoogle Incが商標を保持しています。

・本ガイドに記載されている図はあくまでイメージ図です。本体の見た目、ディスプレイの表示は機種によって誤差がありますことをご了承ください。

・最新マニュアルは当社freetel公式サイト (<http://www.freetel.jp>) からダウンロードいただけます。

freetel

Where the future begins.

www.freetel.jp
freetel OFFICIAL サイト

お問い合わせ



freetel カスタマーサポート
0120-530-518

■受付時間（土日祝日休み） 月～金曜日：09:00～18:00

■サポートサービス情報のご案内はこちら <http://www.freetel.jp>

※携帯電話/PHSからのお電話の場合は **03-6833-8819** におかけください。